

令和 4 年度 交付金事業 新規事業箇所調書

(港湾整備課)

事業名	高潮対策事業		
港湾(海岸)名・施設名	松崎港海岸・堤防	所在市町	松崎町
事業費	730,000 千円	事業期間	令和 4 年度～令和 9 年度
事業概要、目的			
(1) 事業目的 南海トラフ等で発生する地震に伴う津波による被害から背後地にある住宅、宿泊施設、国道 136 号及び松崎町役場等を防護するため既存海岸保全施設を改良(嵩上げ)する。			
(2) 事業内容 堤防(改良)等 L=730m			
費用対効果(B/C)	8.8	総費用	6.6 億円
		総便益	57.9 億円
		基準年	R4
費用対効果分析の手法			
「海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)(令和 2 年 4 月一部更新)」平成 16 年 6 月 海岸 4 省庁 「治水経済調査マニュアル(案)(令和 3 年 3 月、令和 4 年 2 月訂正)」 国土交通省水管理・国土保全局			
評価指標、項目			
本事業を実施することで得られる効果(貨幣換算可能な便益)			
<u>浸水防護便益</u>			
海岸保全施設の整備により、浸水戸数(想定被害家屋数)約 742 戸の解消(浸水防護面積 約 33ha)を浸水防護便益として計測する。			
事業概要図			
<p>松崎港海岸</p> <p>堤防等改良(T.P.+7.5m) L = 730m</p> <p>L1 浸水範</p> <p>整備後浸水範囲</p> <p>(国) 136</p>			

令和 4 年度 交付金事業 新規事業箇所調書

(港湾整備課)

事業名	社会資本整備総合交付金（重点計画） 港湾改修事業						
港湾(海岸)名・施設名	清水港・岸壁 (-4.5m)	所在市町	静岡市清水区				
事業費	120,000 千円	事業期間	令和 4 年度～令和 7 年度				
事業概要、目的 (1) 事業目的 既設岸壁を 10m 前出しする整備を実施することにより、エプロン幅や賑わい空間を確保し、利用者の利便性や安全性の向上を図る。 (2) 事業内容 岸壁 (-4.5m) L=260m							
費用対効果(B/C)	1.31	総費用	10.7 億円	総便益	12.0 億円	基準年	R3
費用対効果分析の手法 「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル」平成 29 年 3 月 国土交通省港湾局 ●旅客対応ターミナル整備プロジェクト							
評価指標、項目 本事業を実施することで得られる効果（貨幣換算可能な便益） 移動コストの削減 清水港は「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に選定され、「国際旅客船拠点形成港湾」に指定された。これを受け、日の出地区をクルーズ拠点とするため、日の出地区にある駿河湾フェリーの発着所を JR 清水駅直結の江尻地区に移転することとした。フェリー移転を受けて、削減される移動コストを便益として計上した。							
事業概要図 							